

「歯を守れ！予防歯科に命を懸けた男」を読んで

秋田県 柴田貞彦

まず本書を読んで感じこは、まるでその場にいるように臨場感たつぷりに描かれていること、そして著者の感じたことが、表現力豊かに書かれていることである。このことは、今までのTV放映とは違った意味で読者に伝わるものが大きいと感じた。歯科医療従事者にとっても、患者の立場になる一般市民にとっても得るところが大きい著書であると感じた。

初診患者に密着する場面では、MTMにそって進められる診療の色々な場面で著者が驚きをもって感じたことを述べているが、そのことは将にMTMを初めて体験する患者さんが感じることであり、改めて患者目線でMTMを捕らえ直すことができた。

私自身ここ10年余りの間に研修等で何度も日吉歯科を訪れたが、改めて今まで知ることのなかった日吉歯科の姿、熊谷先生の素顔そして企業との連携の舞台裏などを知る機会にもなり、参考になるとともに今まで学ばせていただいたことに対しての理解も深まったように思う。

OPセミナーについての場面もあった。10年前に参加した頃の自分を思い出した。ここに登場する先生方と同じように熊谷先生のお話をお聞きし、自分の理想とする歯科医療に出会えたことに興奮を覚えた。この歯科医療を推進しようと医院も移転して医院環境も整え、その後も増築や様々なことに取り組みながらひたすらOPとしての道を追求してきたように思う。熊谷先生と出会えたことに改めて感謝したい。志を継ぐセミナー受講者の一人として、今後も一人でも多くの方が生涯自分の歯で健康に過ごし、幸せな人生を送れるよう精進していきたいと思う。